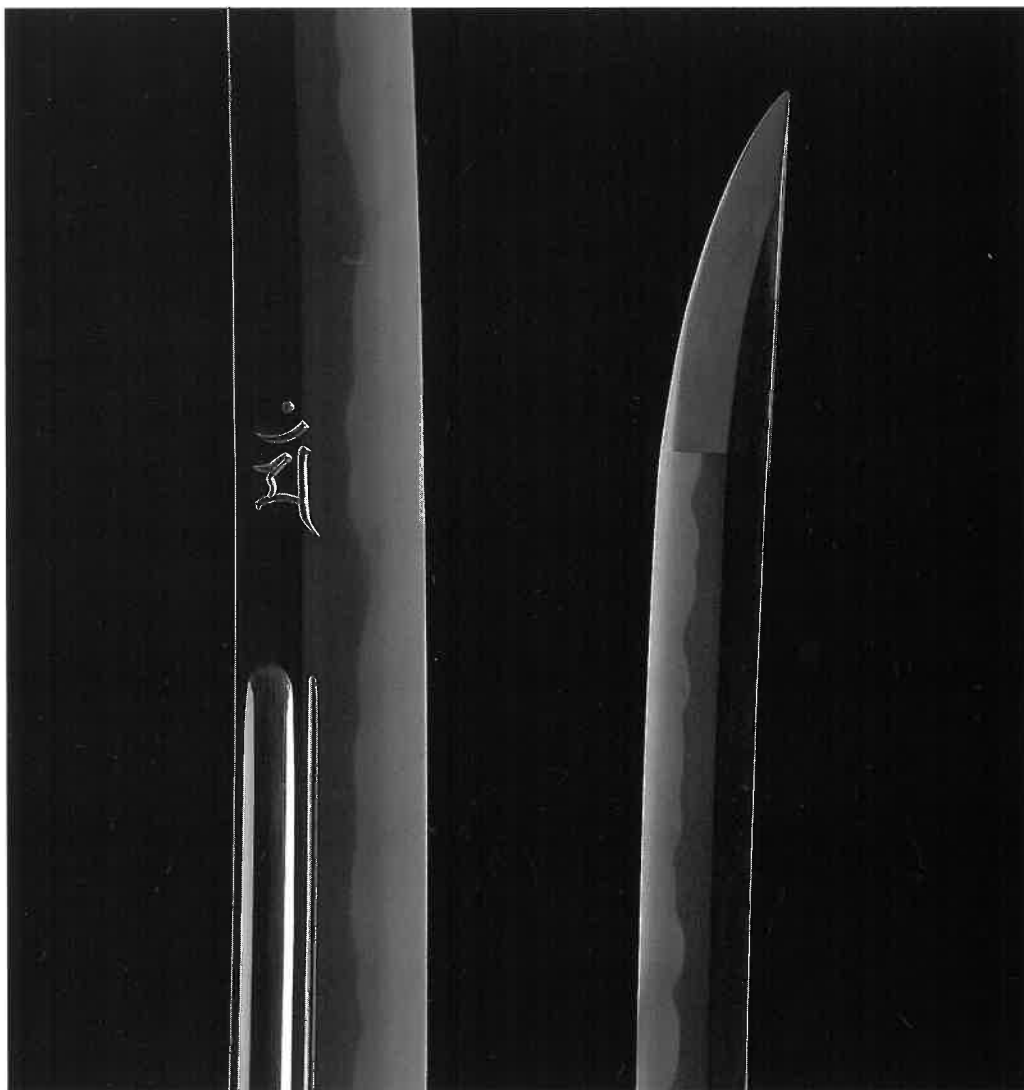


北上市立  
鬼の館

だより

2023(R5).10

第59号



## 企画展「鍛冶神展」

8月5日から10月22日まで企画展「鍛冶神展」を開催中です！現在まで、老若男女、刀が大好きなお子さんたち、そして全国の刀剣女子等々、たくさんの方々にご来場をいただき、「面白かった」「刀剣に魅了された」とのうれしいご意見を頂戴しております。今回の企画展では、刀剣がより映えるような照明の工夫をし、幽玄闊達な展示を目指しました。興味のある方は、ぜひご来場ください。

# 鬼の館令和5年度上半期をふりかえって

## 大乘神楽大会

6月11日(日)に第29回大乘神楽大会が2年ぶりに開催され、新平神楽保存会、北笹間大乘神楽保存会、宿大乘神楽保存会、和賀大乘神楽保存会、村崎野大乘神楽保存会、築館大乘神楽保存会の6団体が出演し、臨場感と気迫が溢れる多彩な11演目が披露されました。大乘神楽大会は鬼の館開館以来毎年開催してきましたが、昨年は新型コロナウイルス感染対策のため中止、令和2年と令和3年は時間短縮での開催のため、待ちに待った4年ぶりの通常開催として行われました。



和賀大乘神楽

11演目のうち、和賀大乘神楽保存会は「榊舞」を披露しました。舞をマスターした人物(法印)だけが踊ることを許される特別な演目で、格調高く荘厳な舞に観客は見入って鑑賞しました。

## ギャラリー鬼の館

4月22日(土)から6月18日(日)までの期間にギャラリー鬼の館が開催され、切り絵、バードカービングや写真など、市民の方々の日頃の活動の成果を披露していただきました。今年は、応募者3組の作品を展示し、第1期は、照井文雄さんによる切り絵展「神楽」、第2期は、すずめの会と切り絵サークル展「木彫りで作る野鳥の魅力/切り絵の魅力」、第3期は、アマチュアカメラマン6名による写真展「写真6人展」を開催しました。どれもきめが細かく鮮やかな作品で、ギャラリー展を目的で来館された市民の方々も多く、盛況でした。



第1期展示の様子



第2期展示の様子

## ナイトミュージアム

9月9日に「逢魔が時ナイトミュージアム」を3年ぶりに開催しました。今回は、ジャズライブとアフリカンドラムをご披露いただきました。ジャズライブは、ヴォーカリストの宇津志博恵さん(北上市出身)、ギタリストの小林道夫さん(宮古市出身)に、1980年代の懐かしい曲や、北上市民お馴染みの「北上夜曲」などを演奏いただきました。アフリカンドラムは奥州市で活動されているチャンガマーノさんにご披露いただきました。



小林道夫さんと宇津志博恵さん

普段訪れることのない夜の鬼の館は、来場の皆さまも新鮮に感じられたことと思います。



チャンガマーノ

## 鬼っこわんぱく講座「鬼剣舞体験」

わんぱく講座「鬼剣舞体験」は、鬼剣舞を実際に踊り、できるだけ多くの子どもたちのこころの中に、鬼剣舞に対する興味関心を育てていく活動です。しかし、ここ数年はコロナ感染の拡大予防や、子どもたち、保護者の多忙化（習い事、塾、さらにわんぱく講座が行われる夏休みは家族旅行などがある等々）のためか、年々参加者が減少しています。そこで今年度は、子どもたちや保護者が参加しやすいように、今まで「夏休み期間中の土曜日、日曜日、祝日を使用した6日間」の開催期日だったものを「夏休み直前の連続した3日間」とし、踊りの内容も鬼の館がYouTubeに配信している「刀剣舞の狂い」としました。踊りを「刀剣舞の狂い」にしたことで前回まで踊っていた「三番庭の狂い」より覚えるのが容易で、さらに家でも動画で動きが見られるので短い期間でも覚えやすいと考えたからです。その結果、7名の参加希望者があり、体験初日は本当に踊れるか心配しましたが、最終日には衣装を身に着け立派に踊ることができました。この事業は、踊りを教えてくださる鬼剣舞保存会の方々への支えがなくては成り立たない事業です。また、この事業を通して、保存会の方々の鬼剣舞を大切にしている想いと熱意を感じました。この熱き想いを次の世代に繋げていく手助けが少しでもできるように、試行錯誤を重ねながらよりよい体験講座を考えていきたいと思ひます。



## わくわくイベント

今年度は令和5年5月5日と5が3つ続く子供の日となりました！今年の子どもの日わくわくイベントは「鬼っ子万華鏡づくり」「鬼剣舞和紙面づくり」「(鬼に扮して記念写真を撮る)コスプレでGO!」「鬼の秘密をさぐれ!(クイズラリー)」を実施し、どのイベントも子どもたちは生き生きと楽しそうに取り組みました。特に「鬼っ子万華鏡づくり」では、参加した子どもたちの独創性が冴え渡り、千代紙やホログラムシート、ビーズなどを使って自分オリジナルの万華鏡を作り子どもたちは皆満足気でした。



## 夏休みワークショップ

今年も、夏休みワークショップを開催しました。7月22日(土)は鬼剣舞和紙面づくりを実施し、7名の参加でした。型に和紙を貼り重ね、張り子のお面を制作し色を塗る「全行程の部」、あらかじめ用意してお面に色を塗る「色塗りの部」に分けて実施。全行程は、1日がかりの作業になる為、集中力と継続する力が必要です。参加児童は、最後まで取り組み完成させることができました。7月30日は、鬼っ子うちわ作りを開催。7名の参加で、親子で楽しみながらオリジナルうちわを制作しました。



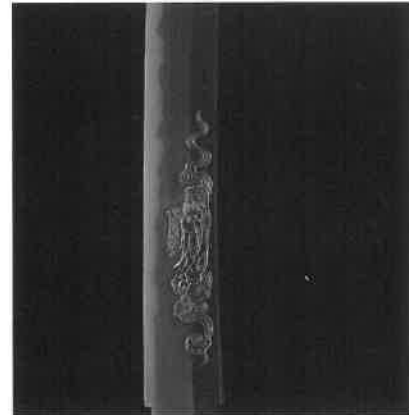
学芸ルームから

企画展「鍛冶神展」 会期：8月5日(土)～10月22日(日)

「鍛冶神<sup>かじかみ</sup>」とは、鍛冶屋が信仰した神々の総称です。その主な神は、かまど神や三宝荒神、金山神などで、実に多様な神々が祀られました。今回の企画展では、これらの鍛冶神を紹介するとともに、日本刀を展示し、製鉄や作刀の歴史を振り返ります。ここでは、その展示資料の一部をご紹介します。

脇差 銘 備前介宗次

備前介宗次は、本名を固山宗次といい、享和3年(1803)に奥州白河で生まれた刀鍛冶です。備前伝を得意としたことから、「備前介」と呼ばれました。本資料は、稻荷神が彫刻された脇差です。稻荷神は農耕の神として有名ですが、実は鍛冶神でもあります。有名な逸話に、三条宗近の小狐丸作刀伝説があり、稻荷大明神の化身が宗近とともに刀を作った、という話が伝わっています。



刀身彫刻  
稻荷神

かまど神

かまど神は、家のかまどに祀られた神のことです。古来、人々は火を神聖なものとして崇め、火の神を信仰しました。かまどに神様を祀ったのは、火を扱うかまどを神聖視したためです。これがのちに仏教の三宝荒神や荒神と同一のものとみなされ、かまど神は鍛冶師たちからも信仰を受けました。



かまど神

鬼カフェ

No.16-①

今回の鬼カフェは、①.②と掲載します。

①は、就任3年目となる当館館長からです！

本館は来年6月に開館30周年を迎える。

鬼剣舞の継承と、鬼の研究を使命とする「鬼の館」は、昨年10月30日の鬼剣舞ユネスコ無形文化遺産登録で世界への新しい発信の場として、北上市の観光プロモーションの中核としても注目を浴びることとなり、大変嬉しく思っている。

コロナ禍が過ぎようとしている昨今であるが、この冬の時代に整えた最新の映像機器システムやインクルーシブへの取組、夏油高原スキー場からの誘客から発した海外観光客に対する翻訳シートやカードの設置、更に鬼剣舞教習動画と着付け解説動画のアーカイブ配信など着実にリスタートの準備を進めてきた。

今年の企画展は開館30周年のイベントとして、これまで収集や寄贈を頂いた未公開収蔵品を中心に展示する機会として開催する予定である。

なお、周年事業には、開設時からの姉妹博物館とも言える、京都府福知山市大江山の「日本の鬼の交流博物館」館長をお迎えすることになっており、まさに交流を深める良い年になりそうである。

## 令和5年度 下半期事業のお知らせ



### ■ 企画展

- 11月18日(土)～2月12日(月・振)  
特別展「世界の仮面」

### ■ 芸能公演

- 10月 1日(日) 飯豊鬼剣舞少年団  
谷地鬼剣舞
- 10月22日(日) 鬼柳鬼剣舞
- 11月 3日(金・祝) 二子鬼剣舞
- 11月 5日(日) 滑田鬼剣舞

### ■ 体験会・講座

- 12月～1月 冬休みワークショップ ※要申込
- 1月 鬼っこわんぱく講座  
冬季鬼剣舞体験 ※要申込  
鬼剣舞ちょっぴり見学体験会
- 2月～3月 鬼学講座 ※要申込

### ■ イベント

- 2月4日(日) 福豆鬼節分会

※事業は急な中止や内容変更等がありますことを、ご了承願います。

## 鬼カフェ

No.16-2

### 博物館実習の感想 ～東京学芸大学4年

鈴木 晴さん～

期間中は、自宅のある東山町から頑張って通い、実習をしていただきました。博物館業務を体験した感想をご紹介します。



わんぱく講座に参加する鈴木さん

私は、7月下旬から12日間、博物館実習をさせていただきました。実習は企画展の準備期間で、刀や掛け軸の資料の取り扱いも教えていただきました。学芸員は専門外のものでも取り扱う必要があります、日々学ぶ大切さを感じました。また、夏休み期間で行われていたワークショップにも参加させていただきました。学校とはまた違った、子供たちの自由で伸び伸びとした時間、空間をつくり、博物館ならではの体験を楽しんでもらう大切さを学びました。最後に、お忙しい中ご指導してくださった館長、主任学芸員の澤藤さんをはじめ職員の皆様に心から感謝申し上げます。

## 新任のご挨拶

### 主任学芸員 澤藤 浩司

4月の人事異動により働かせていただくこととなりました澤藤浩司です。博物館勤務も「鬼」についても初心者であり一から勉強中ですが、「鬼」に関連することの広さ・深さと、いつもより近くに見える奥羽山脈の緑溢れる景色に感心しながら過ごしています。皆様よりご教示頂きながら鬼や博物館についての知識や理解を深めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

### 専任研究員 太田 健

今年度よりお世話になっております太田健と申します。小さいころから博物館、美術館、そして図書館と「館」がつく場所が大好きで、いつか「館」のつく場所で働いてみたいと思っていました。今回、念願が叶い、鬼の「館」で働くことができ、とても嬉しく思っております。また、事務室の自分の机から見える岩崎地区の風景が、絵画のように美しいので、秋の紅葉や冬の雪景色が楽しみです。

### 専任研究員 高橋 和子

今年度よりお世話になっております高橋和子です。主に教育普及事業を担当し、キッズの日、冬休み夏休みのワークショップの実施にかかわります。地元岩崎在住ですので鬼の館には何度も足を運んでおり親しみがあります。どうぞよろしくお願いいたします。

# 上半期事業報告

## ●企画展・特別展

- 企画展 ギャラリー鬼の館①「切り絵展」1990人  
4月22日～5月7日
- 企画展 ギャラリー鬼の館②  
「バードカービング・切り絵展」 888人  
5月13日～5月28日
- 企画展 ギャラリー鬼の館③「写真6人展」1159人  
6月3日～6月18日
- 企画展「鍛冶神展」 開催中  
8月5日～10月22日

## 観客数

## ●大乘神楽大会

6月11日

## 観客数

156人

## ●逢魔が時ナイトミュージアム

9月9日

71人

## ●鬼っこわんぱく講座

5月5日 わくわくイベント

## 参加者数

347人

夏季鬼剣舞体験

7人

7月15日 16日 17日

鬼剣舞ちょっぴり見学・体験会

25人

7月23日

## ●鬼ッズ・プレイミュージアム 4月1日～9月17日

和紙お面づくり

14人

鬼剣舞衣装着衣体験

20人

夏休みワークショップ

7月22日 鬼剣舞和紙お面づくり

6人

7月30日 鬼っこうちわづくり

7人

## ●芸能公演

- 4月23日 北藤根鬼剣舞 143人
- 5月3日 鬼柳鬼剣舞め組 227人  
黒沢尻鬼剣舞
- 6月25日 岩崎鬼剣舞 224人
- 7月9日 黒岩鬼剣舞 143人
- 7月23日 口内鬼剣舞 117人
- 8月5日 北上・みちのく芸能まつり公演 215人
- 8月13日 岩崎鬼剣舞 120人
- 8月27日 相去鬼剣舞 155人

# 利用案内

**開館時間** 午前9時から午後5時  
(入館は午後4時30分まで)

- 休館日**
- ・12月～3月の月曜日
  - ・12月～3月の国民の祝日の翌日  
(土・日・月曜日の場合は火曜日)
  - ・館内整理日(11月27日～11月30日)
  - ・年末年始(12月28日～1月4日)

- 交通利用**
- ・JR北上駅より車で約20分
  - ・東北自動車道「北上江釣子I.C.」秋田自動車道「北上西I.C.」よりともに車で約15分

## 観覧料

区分	個人	団体 (20名以上)	共通観覧券
一般	500円	400円	700円
高校生	240円	180円	300円
小中学生	170円	120円	200円

\*未就学児は無料です。

\*共通観覧券は鬼の館のほか、北上市立博物館、北上市立利根山光人記念美術館でご利用いただけます。各施設1回ずつ観覧でき、有効期限は発効日より1年間です。

\*定住自立圏(北上市、奥州市、金ケ崎町、西和賀町)に居住する小中学生は無料となります。

\*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は無料となります。手帳をお持ちの方1名につき、付添の方1名も無料となります。

\*北上市消防団員は無料となります。団員1名につき同行者5名まで無料です。受付の際に、消防団員カードをご提示ください。

## 学芸ルームのかたすみで

鬼の館に勤務して以来はじめて、中国語で書いたアンケートをいただきました。内容は、「海外の鬼作品をもっと展示してほしい」というコメントでした。

鬼の館は国際的だなあ…。

中国出身の私が、役に立つ気分でした…鬼笑…。

(愛)



## 北上市立鬼の館だより

第 59 号 2023(R5).10.1

編集・発行 北上市立鬼の館

〒024-0321 北上市和賀町岩崎16地割131番地

TEL 0197(73)8488 FAX 0197(73)8508